

## 【基本理念】

# 「信州の食でつながる、人づくり・地域づくり」について

### I 若い世代を対象とした食育

県民が生涯にわたり、健全な心身を培い、豊かな人間性を育むためには、子どもの頃からの食育が重要である。

しかし、20歳代30歳代の若い世代には、生活習慣の乱れ等による食に関する課題が多い。

こうした若い世代への食育は、これから親になる世代（若しくは親の）でもあり、未来につながる食として重要である。

そこで、長野県の未来につながる人づくり、地域づくりのために、若い世代への食育を重点的に推進する。

### II 世界一の健康長寿を目指す食育

長野県民の平均寿命は、男女共に日本一となった。しかし、健康寿命とのとの差が男性では約9歳、女性では約13歳と差があることから、この差を縮小することが望まれる。

長野県においては、平成26年度から「信州ACEプロジェクト」において「世界一の健康長寿」を目指して健康づくりに取り組んでいる。

この趣旨を踏まえ、「長生き」から「健康で長生き」を目指した食育を推進する。

### III 食の循環と地域の食を意識した食育

食に関する情報が氾濫している中で、正しい知識に基づく安全な食品・食料を選択する力が重要である。

また、信州は豊かな自然、様々な農畜産物、食文化がある。食に対する感謝の念を深めていくためには、食料の生産から消費に至る食の循環を意識し、生産者を始めとして多くの関係者により、食が支えられているということ、長寿を育んだ地域の食を理解することが大切である。

一方で、食品ロスにより、環境への負荷を生じさせていることから、限りある資源を大切にするという環境にも配慮した食育の推進が重要である。

### IV 信州の食を育む環境づくり

家庭において、健全な食生活を実践するためには、様々な機会を通じ、行政や関係機関などの多様な連携によって県民一人ひとりが、積極的に食育に取り組めるように社会全体で支援することが基本となる。

そして、第一に県民が食育に関心を持つことが重要であり、そのために食育ボランティア、関係機関・団体が連携して、食育の環をつなげる必要がある。

基本目標の3つの柱を支える基盤づくりとして3次計画では、4本目の柱とする。